

3月休館日

5日(日)	12日(日)	19日(日)	20日(月)
21日(火・祝日)	26日(日)	27日(月)	

※4月1日(土)は臨時休館日となります。2日(日)も休みです。
令和5年度の教育センターの業務開始は4月3日(月)からとなります。

<2月にはこんな学びをしました>

2月15日 第17回初任者研修

午前には課題研究発表会を実施しました。発表会では、始めに一年間取り組んできた実践をグループ内で発表しました。その後の質疑応答では、うまくいかなかった授業や、同じような内容の取り組みでも、他のメンバーが工夫した実践などを伝え合い、さらに討議を深めました。その際には、拠点校指導教員の先生方からも助言をいただきました。

午後は、一年間を振り返り、実際に研修が生かされた内容を伝え合いました。これからの一宮市の教育を担う、初任者のみなさんの活躍を願っています。

最後の初任者研修
でした。



2月17日 第5回校務主任者会

第5回校務主任者会はオンラインで実施をしました。前半は、グループ毎に話し合いを行い、本年度の取り組みについて情報交換と振り返りをしました。校務の仕事はどう効率よく実施するか、働き方改革の進め方などが話題となりました。後半は、年度末から新年度に向けての準備が円滑に進められるように、特別支援教育関係、ICT関係の年度移行作業についてお知らせをしました。最後に教育コーディネーターの先生より「これからの校務主任に求められるもの」と題して、アドバイスや激励をもらう会となりました。

自主研修で学びを深めました

参加者の声です

<シニアリーダーシップ研修> 2月3日

・シニアリーダーである教務主任の役割を具体的に分かりやすく教えていただいたので、とても勉強になった。今の自分には何が不足していて、どんな力をつけていく必要があるかを「見える化」できた。今の自分のできることを精一杯行い、また、できることを一つずつ増やしていくことで、シニアリーダーとしての役割が果たせる人材へと成長していきたい。



<ミドルリーダーシップ研修> 2月17日

・「PDCA サイクルに乗せて考える」その方法を実際に学ばせていただいた。本校の現状を把握し、来年度の生徒・先生方に必要なテーマを考えたいと思う。
・来年度以降の実践を考える上で、本年度の振り返りが重要であるとの話をお聞きした。さっそく学校で振り返りをしたいと思う。



2月21日 令和4年度第2回一宮市教育センター運営委員会

2月21日(火)に、令和4年度第2回一宮市教育センター運営委員会を、教育センター第1研修室で開催しました。

はじめに、令和4年度の事業報告をし、次に令和5年度の研修計画について変更点を中心に説明しました。最後に、研修受講履歴の活用と教育センターの取組について報告し、参加いただいた委員の皆様から、質問やご意見をいただきました。

今回は、グーグルドキュメントを使って適宜質問や意見を入力していただく形式を採用しました。限られた会議時間の中でしたが、たくさんのご意見をいただくことができました。

いただいたご意見を、次年度の教育センターの運営に生かしていきたいと思っております。



センター職員おすすめの1冊 第2弾

教育センターの図書室に新しい本が今月も入りました。個別最適な学びや授業改善、児童心理について学べる本が多く入ってきています。ぜひ、教育センター図書室で手にとってみてください。

貸し出しにつきましては、センター職員にお声かけいただければすぐに手続きできます。返却はセンターへ持参していただくか、メール便を利用していただいても可能です。

「指導から評価まですべてが分かる！新学習指導要領対応
小学校図工テッパン題材モデル(低学年・中学年・高学年)」
「指導から評価まですべてが分かる！新学習指導要領対応
中学校美術テッパン題材モデル(第1学年・第2・3学年)」
/竹井 史・中村 僚志 監修

この本に掲載されている実践モデルは、新学習指導要領に沿ってつくり、指導から評価まで具体的に示されているので、即実践可能なものばかりです。

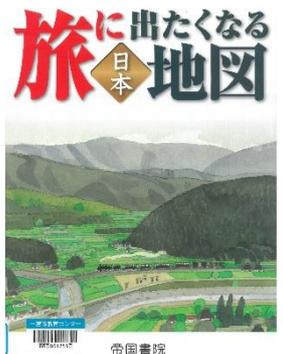
授業にそのまま生かすもよし。自分なりにアレンジしてみるもよし。「図工・美術の授業をどのように組み立てていけばよいの?」「今の授業を更にレベルアップするにはどうすればよいの?」このように思われた方はぜひ手に取って、読んでみてください。(教科研究担当)



「旅に出たくなる日本地図」/ 帝国書院

学校で使用している地図帳をさらに詳しくした内容で、読むだけで旅に出かけたような気になる一冊です。

単なる地図ではなく、温泉や料理などの特集や百名山や祭りに関する資料も掲載されており、授業で活用すれば子どもたちの興味関心が高まること間違いなし!また、「〇〇を訪ねて」と題して、各地方の特集が組まれているため、社会の授業で活用できます。「東北を訪ねて」では、「奥の細道」で松尾芭蕉が通った道やそこで詠んだ句が載っているため国語の授業でも活用でき、三百数十年前に戻って芭蕉と一緒に歩きながら、句を詠んでいる気になります。まずは、先生方が一度見てみてください!(学習指導担当)



お礼と『教育センターの夢』

①未来を生きていく子どもの力を伸ばすためには?



②ある時、職場の先輩が...



③きっかけをもらったセンターでの学びの数々



④校内外での出会いで悩みさえもエネルギーに変わりました!!



教育センターの存在理由は一言で申せば『教職員のため』です。文字にすると単純ですが、答えや成果は単純ではない挑戦しがいのある目的です。それでも教員・職員の力量向上と心身の健康が、未来を拓く子どもたちを育てる源になると信じて、私たちは試行錯誤を続けています。本年度も一宮市では研修(集合・オンライン)にのべ7500人以上の教職員にご参加いただきました。現場のご協力に感謝申し上げますと共に来年度も皆さんの学びのお役に立てるよう努力していきたいと思っております。

雑! 所長の夢が雑!!

